

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市上矢部地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

戸塚区内地域ケアプラザのエリア変更も徐々に認識され、定着してきました。上矢部町・鳥が丘・矢部町の3つの町内は、上矢部連合町内会と戸塚第三連合町内会の2つの連合町内会になり、どちらの連合町内会も、それぞれ、結束が強く、これからの地域の課題解決に向けた取組を進めました。

(課題)

高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯・認知症高齢者の増加に伴い、老老介護、生活が困難になり孤立や拒否をする人、虐待など多問題で生活が困難なケースが年毎に増えており、相談件数や緊急の対応も増加しました。

平成 29 年度に行った個別地域ケア会議では、「地域につながっていない人の見守り」「支援を拒否する一人暮らし高齢者」をテーマに検討しました。つながっていないと思っていた方が、実は地域で見守られている、サービスは拒否しているが、近所に連絡する知人がいるなど、ケア会議を通してつながりを可視化できたことは大きな収穫でした。地域の支援者の方々との連携、情報共有により、孤独であっても孤立させない地域づくりが今後の課題となります。

生活支援体制整備事業では、「坂本・グリーンこころんPJ」の中で、課題解決に向けた検討を行い、気になる方を定期的に見守る「こころんカフェ」の開催支援を行いました。集い場、見守り体制の構築は他エリアにも展開していきたいと考えます。

(2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

・総合相談は、相談のしやすい雰囲気作り（話を途中で遮らないなど）を心掛け、相談者の話をしっかりと傾聴し、内容を的確に把握する。同時に、わかりやすい相談票を整備しました。

・事業実施時など内容に応じて、相談者にとって最も適切と思われるところにつながぎ、継続的に支援を行いました。

・慎重性のある相談に対しては、関係機関にアドバイスをいただいてからの回答など、相談者にとって有意義な情報を提供しました。

(3) 各事業の連携

業務日誌・各種業務報告書などに情報を記録することだけでなく、毎月1回、4事業全体のケアプラザ会議で情報周知と徹底を図りました。毎朝の情報共有会議や、各事業で随時会議を行い、情報共有・問題解決を図り事業を推進しました。また、防災対策委員会を毎月1回実施し、災害時対策を図り推進しました。日常の良好なコミュニケーションでお互い連携を取って共催事業・情報の共有化・地域支援の強化を図りました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

5事業の常勤職員・非常勤の有資格者等職員体制を整えて事業実施をしました。欠員が生じた時はサービスに影響が出ないように対応しました。新人職員の育成研修計画・経験ある職員の研修計画を立て実施し、OJTの実行で働きやすい職場環境づくりに努めました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・2連合町内会（上矢部・戸塚第三）の定例会議に出席しコミュニケーションをとり、地域の問題点やニーズの把握をして情報提供や問題解決に努めました。
- ・民生委員・児童委員及び主任児童委員の高齢者食事会・子育て活動や保健活動推進委員の健康体操などの活動や老人会などに参加して、情報提供や課題の共有・相談の対応をしました。
- ・「とつかハートプラン」は上矢部連合町内会及び戸塚第三連合町内会の2つの連合単位の地域福祉保健計画の目標に沿って活動を推進し、地域福祉ネットワークを構築しました。
- ・区役所・区社協・地域ケアプラザの地域連携チームが各連合町内会と推進委員会の定期的な会議を開催し、「とつかハートプラン」の更なる推進に努めました。
- ・「みまもりネット」、「みつけてネット」の事業推進を図り、高齢者等の孤立の防止や安心な町づくりを目指して、登録事業者・地域や関係機関とのあんしんネットワークの構築を推進しました。
- ・上矢部ケアプラザエリアの子育て支援を充実するために、子育て連絡会で公園遊びや保育など、行政・関係機関・グループと話し合いや情報交換、連携をして地域ネットワーク推進を図りました。
- ・地域ケア会議による個別支援と地域課題の解決を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

(6) 区行政との協働

- ・「とつかハートプラン」は上矢部連合町内会及び戸塚第三連合町内会の2地区の地区別計画推進のために、地区別計画の地域連携チームが区役所・区社協・地域ケアプラザが2地区連合町内会の推進委員会と連携して事業を推進しました。
- ・あったまり場の実施では、区行政からのアドバイスを頂きながら、戸塚生活支援センターと連携して事業を推進しました。また、困難ケース等の問題に関しては区役所のMSWと連携を密にして問題解決を図りました。
- ・障害児者余暇支援事業の「はなうた」は自主事業に移行し、長年参加いただいている多数のボランティアさんと共に、より楽しい活動を通して利用者及び家族支援に繋がりました。
- ・戸塚区地域ネットワーク見守り事業「みまもりネット」の事業は、戸塚区と地域ケアプラザが協働でプロジェクトチーム会議を行い、広報作成や対応の情報共有、新しい登録事業者の協力依頼、連絡会を区行政と協働で実施して見守り事業の推進を図りました。上矢部ケアプラザエリアの地域住民や協力事業者・民生委員・見守り協力機関と連携して、高齢者などが孤立せず安心して暮らし続けられるよう「ゆるやかな見守りの体制」の充実を図り、区行政ケースワーカー・保健師と連携して問題解決を図りました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

【各世代への事業展開】

子育て世代の転入が多く、ニーズの高い「子連れdeヨガサロン」を引き続き行いました。未就園児とその親への居場所と友達作りの場として提供しました。

高齢者への支援としては、ミニデイサービスやおしゃべりスポーツ喫茶、歌声喫茶を継続しました。高齢化率の上昇と共に、参加者が増えてきており安全に楽しい時間を送れるように支援しました。

障がいへの支援は、地域子育て支援の一環として「はなうた」を行いました。

【上矢部ケアプラカード】

ポイントカードを作成し、ケアプラザが指定する自主事業や講座の参加者にスタンプを押しました。ポイントがたまったら、スタンプカードと粗品交換を行いました。H29年度は新たに「いいじいカフェ」で100円のコーヒーと交換ができるようにしました。ケアプラザの事業に参加意欲を高め、閉じこもり予防などにつながり、介護予防としました。また、ケアプラザ全体の周知にもつなげる狙いがあります。H29年度はのべ人数 236 名がかみやべポイントカードの参加がありました。

【自主事業参加者数】

H29年度定例開催の自主事業(ミニデイサービス、歌声喫茶、おしゃべりスポーツ喫茶)参加者数 1450 人を目指しました。(H29年度実績 1653 人)

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

【新規活動団体への支援】

新規立ち上げのサークルに対しての場所の提供を行いました。

さらに、新規、既存の活動団体に関しても、より活発に活動が行えるように、ケアプラザ広報誌でのメンバー募集など記事の掲載をしました。

【貸館の空き情報の提供】

引き続き、Facebook、twitter にて貸館の空き状況を月に 2 回程度最新の情報をアップして閲覧できるようにしました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

【「いいじいカフェ」の開催】

折り紙ミニ講座や「おじさまカアアップ講座」で学んだコーヒーを淹れる知識を生かしてコーヒーの提供を行いました。子育て世代のママ達の憩いの場や、高齢者のしゃべり場、誰もが参加できるコミュニティカフェです。

さらに「いいじいカフェ」だけではなく、ケアプラザのお祭りやイベントでのお手伝い、介護予防事業の担い手になるよう支援を行いました。

【ボランティア養成講座】

現在ボランティア活動している方々の高齢化が進んでいます。その為、新たな人材の発掘・育成が必要になりました。今年度は生活支援体制整備事業と連携して、「シニアボランティアポイント研修会」を実施しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

【上矢部ケアプラザエリアの子育て応援カレンダーの毎月発行】

上矢部ケアプラザエリアの保育園、幼稚園等の子育て関係施設の園庭解放やイベント情報をまとめ、毎月発行しました。ケアプラザが情報提供を行うことで、子育て世代の居場所づくりや子育てに携わる母親の孤立予防につなげる目的としました。Facebook や Twitter の SNS を活用し、広く情報発信を行いました。

【貸館利用団体連絡会】

貸館を利用している団体との交流会を H30 年 3 月 20 日に実施しました。貸館利用に関しての、ルール of 徹底や、利用に対してのご意見などを伺う機会とし、さらに利用しやすい環境を整えました。さらに、利用団体同士の交流の場とし他の団体の活動を知ってもらうことで、活動の場を広げてもらえるよう支援しました。

【多世代の交流の場】

子育て支援事業、精神障害者活動支援事業、いいじいカフェなどの自主事業を通じて地域課題について周知啓発を行いそれぞれの活動を連携させ、活動団体や地域住民同士の交流の機会を作りました。

【情報収集活動・情報提供】

地域の行事や食事会に出向き、CP の情報提供をするとともに、地域住民のニーズ把握に努めました。今後の事業展開や講座の開催など、ニーズを取り入れながら事業を行いました。また、毎月広報誌の発行と Facebook や twitter の SNS での情報発信を行い、幅広い世代への情報提供を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

所内では月 1 回の「包括・生活支援 CO・地域交流 CO 会議」の実施、その他適宜情報共有しながら、地域状況を把握しつつ、事業推進を行った。区役所とは「カンファレンス」を実施し、個別ケースの検討や地域状況、地域課題の共有を行った。区社協、1 層 CO とは定期的に情報を共有し、相談、協力を得ながら地域支援、事業推進を実施した。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

① 地域包括支援センターと区とのカンファレンスや総合相談、要援護者情報などを町別（上矢部町、鳥が丘、矢部町）ごとに分け数量的に把握することで、町別ごとの相談者の特徴や傾向を量的に把握した。また、要支援者をマップ化し可視化することでエリアの傾向を把握した。

② エリア内の統計データ（人口・高齢化率・要介護認定率等）の整理を行った。

③ エリア内の介護予防の通いの場や趣味的活動、見守り事業などに出向き、社会資源を把握し、社会資源情報リストを作る等して体系的に整理した。また、地域へ出向き調査（老人会や自治会、その他インフォーマル団体の活動状況や内情等の把握）にも努めるとともに、高齢者の困りごとなどの聞き取りを行った。

(3) 連携・協議の場

- ①坂本町内会と戸塚グリーンヒル自治会で「坂本・グリーンこころんPJ」を立ち上げ、「支え合いマップ」を作成した。気になる方や支援が必要な方、地域の繋がりを可視化し、課題の抽出、課題解決に向けた協議・検討を行った。気になる方を定期的に見守る見守り体制の構築やつながりを作るため「こころんカフェ」の開催に至った。茶話会形式とし、クリスマスや節分などのイベントの内容とした。今年度は3回開催し、参加者平均20名となった。
- ②H29年11月30日(木)に「CPレベルの地域ケア会議」と「民生とCM連絡会」と協議体を兼ねて開催。地域の現状と今後についてや生活支援体制整備事業とCOの役割、「こんな集いの場、見守り体制があったらいいな」についてグループワークを行った。また、H30年2月22日(木)に「地域ケア会議」を実施し、諏訪久保町内会における高齢者の見守り体制の構築に向けて検討を予定している。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ①「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」の実施。
「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修会を開催し、13名参加した。担い手不足や社会参加や社会的役割を持つことで、活動を通じた生きがづくり、健康づくりと繋げた。
- ②企業、社会福祉法人、商店との連携、社会福祉法人、企業などの連携について、今後働きかけを予定している。
- ③生活支援ニーズの調査
単位町内会や老人会、サロン等において、生活ニーズ調査の聞き取りを実施した。生活課題の洗い出しや現状の把握を行った。
- ④出張講座
包括支援センター、区役所と連携し、地域の自治会、町内会会館にて介護予防講座を実施した。高齢者の介護予防につながると同時に、「ハマトレリーダー養成講座」の受講修了生をボランティアとして、派遣し新たな活動の場の提供し、男性の担い手、社会参加とした。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

・基本的な対応のスタンス

総合相談は包括職員が対応するが、留守時は管理者やプランナー等が一旦受け、後で包括職員に引き継ぐ等、穴が開かないようプラザ内で連携して対応する。相談者が安心して相談しやすく、必要なサービスを適切に受けられるように親切・丁寧な対応を心がけました。

・総合相談票の検索データベースの活用・更新

過去9年分の「総合相談票の検索データベース」のデータを引き続き、随時更新します。索引簿的役割を果たし、検索の正確性と即時性に役立てました。

・包括システムと総合相談票のリンク

日ごとの総合相談票や総合相談概要をPC上でエクセルで管理するようにした。そのことで、検索や集計がしやすくなり、日々の業務や四半期報告時の利便に役立てています。これらのデータを地区別に整理する等より有効な活用方法の検討をしました。

・制度や機関の紹介、各機関との連携

相談内容に応じ、介護保険の申請代行手続・各種制度の案内・ケアマネジャーの紹介・

施設や関係機関の紹介・病院との連携・区役所のケースワーカー・保健師・生活保護CW・民生委員との連絡・連携などを実施しました。

・ **3 職種** の連携

社会福祉士職が総合相談の主担当だが、不在時やケースの性質（例：医療的要素の高いケースは看護職、CM支援を要するケースは主マネ職）に応じ、一つのチームとして他2職種と柔軟に連携を図りながら遂行しました。

② 実態把握

・ 食事会（鳥が丘サロン、アザリエ、お茶の間等）、上矢部・戸塚第三地区民児協、老人会（上矢部等）、体操教室等へ出来る限り参加します。地域住民や民生委員等と顔の見える関係づくりを図るとともに、総合相談機能役割の広報周知も併せて行うことで、要援護者をより見つけ出しやすいシステム作りを目指しました

・ みまもりネットの協力事業所を増やしていくことで、エリア内に潜在する要援護者を見つけやすい環境を整えていきました。

③ 総合相談支援

・ 総合相談は、上記1（2）の通り、相談のしやすい雰囲気作り（話を途中で遮らないなど）を心掛け、相談者の話をしっかりと傾聴し、内容を的確に把握する。同時に、わかりやすい相談票を整備しました。

・ 話を聞いたうえで必要に応じて包括内で検討し、相談者にとって最も適切と思われる機関、施設につなぎ、継続的に支援を行いました。

・ 慎重性のある相談に対しては、関係機関にアドバイスをいただいてからの回答など、相談者にとって有意義な情報を提供しました。

・ 総合相談票の検索データベースを活用し、過去の相談履歴を参考にしながら支援しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・ **権利擁護の普及啓発**

地域の食事会・体操教室・老人会等の場に参加し、遺言・相続・成年後見制度（任意後見含む）・悪徳商法・認知症・みつけてネット等に関する情報提供を行いました。ものしり大学（下記に記載）を実施しました。

・ **権利擁護講座**

「ものしり大学」(権利擁護普及啓発を目的とした地域ボランティアによる寸劇＋行政書士によるポイント解説の講座)を4ヶアプラザ（上矢部、東戸塚、平戸、名瀬）合同で行いました。

対象者： 民生委員、一般住民

講座は権利擁護関係（例：虐待、成年後見制度、遺言・相続、悪徳商法、等）をテーマに実施しました。

② 高齢者虐待への対応

・地域住民や福祉従事者に対し、食事会・体操教室・各種イベントなどにおいて、高齢者虐待防止・早期発見などの情報提供をパンフレット等、用いることで出来る限り実施しました。それにより、より一層の通報や相談を促し、適切な対応や問題解決を図りました。なお、ケアマネジャーや居宅サービス事業所からの相談には迅速に対応し、区役所・弁護士・司法書士・行政書士等と相談し連携を図り適切な支援をしました。

③ 認知症

・上矢部家族の会（介護者のつどい）

認知症の方の介護に関わる家族を対象に実施しました。介護者が、今、抱えている介護の悩みなど茶話会を中心に参加者同士で話し合うことで、つらさを共感し受け入れたり、その関わりから元気を取り戻していただくよう心掛け実施しました。

また、毎回できる限り新規の方に来ていただくよう声掛けすることで、会としての話題が硬直しないよう心掛けました。

・みつけてネットの情報提供

食事会や体操イベント、民児協等に実施して周知啓発をしました。

認知症高齢者徘徊SOSネットワークに登録し、行方不明時に一斉検索することをPRしました。

・講演会

一般住民や地域関係者を対象として、講演会の開催を実施し、認知症の普及、啓発を図りました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・広報誌、ホームページ、Facebookなどを活用して、広く情報発信することに努めました。

・広報誌「広報かみやべ」はケアプラザの事業周知に加え、地域で活動している団体紹介や健康・介護予防に関する情報、ケアマネジャーやデイサービス側からの情報など、幅広い世代に読んでいただける紙面作りを目指しました。

・「ふれあいフェスティバル」や地域のお祭り「アクアフェスタ」、「矢部福祉まつり」の企画運営に参加し、地域住民と福祉施設の連携を深めました。

・民生委員や地域のインフォーマルサービス関係者とケアマネジャーとの情報交換会を開催し、地域ケア会議や戸塚ハートプランと連動し、地域課題の抽出や解決のための地域資源の活用について考えました。

・4か月に1回程度、個別事例地域ケア会議を開催し、個別の事例から地域の課題抽出を行い、年1回程度の小地域レベルの地域ケア会議でケアプラザエリアの課題を検討しました。

・地域のマンションや自治会、老人会への出前講座を積極的に開催し、制度の普及啓発や地域ケアプラザ、包括の周知を行いました。

・地域防災拠点の訓練の参加、年2回の施設の防災訓練に加え、特別避難場所開設訓練に職員、地域の民生委員や町内会役員にも参加いただき、エリアの防災意識を高めていきます。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・戸塚区在宅医療拠点と連携し、「どこに住んでいても、その人にとって適切な医療・介護サービスが受けられる社会」である地域包括ケアシステムを推進しました。
- ・地域のケアマネジャー勉強会「ケアマネサロン」や「在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修」に医師、薬剤師などの医療関係者を招き、疾病・薬についての知識や病院の体制について理解し、医療と介護の連携を推進しました。
- ・ほーめっとに関わる後方支援を行いました。
- ・エリアの医療機関やサービス事業所を訪問し連携を図りました。
- ・グループホームや小規模多機能施設、地域密着型通所介護の運営推進会議に参加し、情報交換や地域課題の共有を図りました。
- ・訪問介護連絡会に出席し、在宅サービス事業所との連携を図りました。
- ・さまざまな連絡会の連携をよりよくするよう、ほーめっと、ケアマネット、在宅医療相談室を集めた会議を開催し、後方支援しました。
- ・医療機関相談窓口一覧の改定については、在宅医療相談室の事業所検索への掲載も含め、主任ケアマネジャー連絡会で検討しており、引き続き次年度の課題としています。

③ ケアマネジャー支援

- ・地域のケアマネジャーを対象とした勉強会「ケアマネサロン」を開催し、医療連携やケアマネジメントに関するケアマネジャーの資質向上を図りました。
- ・11包括合同で医療連携についての研修を開催しました。今年は「リハビリテーションセンターの職員に在宅リハビリについて話してもらい、理解を深めました。
- ・ケアマネット戸塚賛助幹事として、毎月会の企画運営やFAX申込みの受付集約、資料印刷に携わりました。
- ・新任就労予定ケアマネジャー支援の研修を、居宅主任ケアマネジャーと共に企画し、実施しました。
- ・居宅主任ケアマネジャーの支援として、連絡会の立ち上げ支援として、第1回居宅主任ケアマネジャー情報交換会を開催しました。また居宅主任ケアマネジャー向けの研修を区役所と合同で企画・開催しました。
- ・ケアマネット戸塚、区役所と協働で研修を企画し、ケアマネジャーのスキルアップを図りました。
- ・ケアマネジャーからの相談ケースは、三職種それぞれの立場で助言や同行訪問を行い、必要に応じてカンファレンスを開催し、区役所と連携しながら迅速に対応していききました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・引き続き、地域の食事会や体操教室等に出来る限り出席し、民生委員や関係機関との情報交換等を行い、顔の見える関係づくりを継続的に行うことで、徐々に支援者ネットワークを作っています。
- ・地域ケア会議については、今までの経験を踏まえ、多角的な検討を図り、エリア内の地域課題が浮かび上がることを目的とした地域課題の洗い出し、テーマ設定や事例選定等を行いました。また、ケア会議実施後の参加者へのフィードバックを行うことで会議が次につながるようにしました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

「利用者本位の、利用者の意欲を引きだせる」プランを作成しました。横浜市総合事業の通所型、訪問型のサービスを取り入れながら、地域の活動やボランティア活動などとも協働し自立を目指した在宅での生活を支援していきました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

◆ 介護予防普及啓発事業

健康長寿を目指す介護予防講座、GOGO 健康教室（ロコモ予防のハマトレの習得、高齢期の栄養改善講座、口腔機能向上のための口腔ケア）を4日間のシリーズで行いました。春はアザリエ自治会館、秋は谷矢部東町内会館を利用しました。

また、秋にはノルディックウォーキングを行いました。

◆ 町内会の保健福祉部や老人会などと連携し介護予防ミニ講座を行いました。

◆ 地域介護予防活動支援事業

地域高齢者の介護予防の通いの場として定着している、はまちゃん体操、ハマトレ、ウォーキンググループ（ケアプラザ、WA130、ラムーナ、アザレア館、東建ニューハイツ、柳作町内会館など）にて、介護予防ミニ講座を行いました。また自主事業として、転倒・骨折予防をめざした「はつらつ健康体操」を年5回、「ときめき健康体操」を年6回実施しました。

◆ エリア内は坂道も多く、膝や腰の痛みがある方もいるため、地域リハビリテーション活動支援事業として理学療法士を招いて「膝・腰に痛みがあってもできる体操」というテーマで秋に1回講座を行いました。

5 その他

--

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

複合施設の上矢部地区センター・障害福祉サービス事業であいと建物・設備維持管理を覚書に沿って実施しました。定期点検や定期清掃、随時建物設備の修繕を実施し環境整備をします。建物は25年経ち、経年劣化に伴い修繕が必要な部分は区行政に報告相談して対処しました。

(2) 効率的な運営への取組について

利用者のサービスの質の維持向上を重視し、効率よくサービス提供をしました。介護保険ソフトを利便性良く活用し、業務の効率化や省力化を図りました。ホームページへ情報アップし、Twitterやfacebookなど災害時にも活用できるSNSを利用した情報提供を引き続き行いました。

(3) 苦情受付体制について

苦情解決マニュアルに沿ってより迅速に対応できるシステムを整備します。受付担当・責任者・第三者委員2名設置として対応しました。また、苦情の意見箱を設置して意見を出しやすくし、質の向上に役立てました。苦情対応は迅速かつ適切に問題解決を図りました。相談内容によっては、区役所や関係機関と連携を図り、個人及び地域支援を行いました

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯・防災マニュアルに基づいて実施しました。横浜市の指示に従い、戸塚区役所と体制を整備します。災害時、高齢者・障害者の福祉避難所（横浜市は地震時、震度5強で本部を設置）として体制と応急備蓄の整備のため、毎月、災害対策委員会を開催しました。AED設置と管理、防災訓練の実施を消防署の指導を受けて、火災と地震を想定した訓練を年2回実施しました。

(5) 事故防止への取組について

事故マニュアルに基づいて実施しました。ひやりはっと・事故報告の周知、注意喚起をします。研修の実施（車の運転・介護事故防止・感染症など）と事故防止について、職員が対策を検討して施設全体で事故防止を図りました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護法に基づいて実施しました。個人情報保護方針、目的を掲示板に掲示して周知しました。原則個人ファイルは持ち出さない、必要時は管理職の了解をとり対応しています。個人情報の漏えい（FAX・郵送は一部消し、ダブルチェック）・パソコン盗難（ワイヤー取付け・鍵付きの引き出し使用）防止対策を図りました。

(7) 情報公開への取組について

情報公開については、横浜市の標準規定に準拠して「情報公開規定」を作成し、それに基づき行政文書開示請求に対して適切に対応しました。

施設運営の透明性と公平性を確保するため収支決算書をホームページで公表しています。介護サービス情報公表制度に従い通所介護・居宅支援事業の情報公表をしています。地域ケアプラザのホームページは情報更新を毎月行い、広報など新しい情報を提供しました。

災害時の通信手段として、Twitter、facebookを利用できる体制を整えています。

(8) 人権啓発への取組について

横浜市の人権施策「基本指針」に沿って、「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指しました。人権施策推進の取り組みとして人権問題への理解を深め、法人の理念としての「思いやりの心」を心掛けて業務を行いました。また、職員の人権啓発研修を年1回実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢！を意識して「ごみの減量」及び「分別資源回収」によるリサイクルを実施しました。空調の温度設定を確認し、夏・冬の適切な室温設定としました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師：常勤兼務2名・社会福祉士：常勤兼務1名・事務：非常勤専従1名
主任ケアマネジャー：常勤兼務1名・予防ケアプランナー：非常勤専従1名

《目標に対する成果等》

- ・要介護者と家族の要望やニーズを把握して、在宅生活が継続出来るように心がけて支援しました。
- ・要支援状態から要介護にならないように、自立への意欲が継続できる支援計画作成をして支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

本人と家族及び各事業者との信頼関係の構築を心がけて、利用者アセスメント・支援計画の作成を実施しました。

各事業所と連絡調整を綿密に実施しました。

委託ではケアマネジャー支援の実施をしました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	143	148	141	147	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
154	156	167	158	157	168

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

ケアマネジャー：常勤専従 2 名 非常勤専従 1 名

※ H29 年 12 月～H30 年 3 月（常勤専従 1 名・非常勤専従 1 名）

《目標に対する成果等》

- ・相談援助技術を的確に活用して、利用者のニーズの把握とケアプラン作成をして、サービス利用につなげました。
- ・問題解決のため本人及び家族の意向を受け止めて、サービス事業所・地域包括支援センター・区役所・医療・民生委員などと連携して在宅生活を支援させていただきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

》 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・職員の連携を密にして、担当でない利用者の緊急対応なども適切に実施しました。
- ・困難ケースや虐待ケースについては、地域包括支援センターや区役所・医療・行政書士・サービス事業所・民生委員などと連携して、利用者・家族支援をさせていただきました。
- ・介護保険法の改正、年末年始のお知らせや医療費控除等について、書面を提示して利用者にわかりやすく説明して同意を得てからサービスの調整を行いました。
- ・利用者や家族の意向を汲み取り適切に情報提供を行った上で、公正中立にその方にあった事業所の選定を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
79	84	87	82	85	87
10月	11月	12月	1月	2月	3月
89	87	70	71	70	67

●通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

●・送迎、健康チェック、入浴、口腔体操、食事、散歩、体操、レクリエーション活動(外出含む)、談話、カルチャー活動(習字・カラオケ、囲碁、マージャンなど)

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

● 1割負担分

(要介護1)	794円
(要介護2)	927円
(要介護3)	1064円
(要介護4)	1201円
(要介護5)	1338円
● 食費負担	750円
● 入浴加算	55円
● オムツ代	50~200円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週6日 (月~土曜日・祝日実施・12/28~1/3年末年始休み)

《提供時間》 9:30 ~ 16:35 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

管理者:常勤兼務1名 生活相談員:常勤兼務2名・非常勤兼務1名

看護職:非常勤兼務11名 看護師:非常勤兼務4名

《目標に対する成果等》

自宅での生活が可能な限り自立して行えるよう支援する。利用者が心置きなく、寛ぐことができ、「来てよかった。また来たい。」と心から思えるサービスを提供しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・アットホームな心のケアを大切にしたいデイサービスです。
- ・お風呂は季節に応じた入浴剤の使用、中間リフト浴の提供をしました。
- ・四季の行事食はお花見弁当・七夕・夏祭り・敬老会・お寿司・クリスマス会・お正月の松花堂弁当などで楽しむことができるように努めました。
- ・カラオケは新曲も楽しめる機器の導入によりカラオケを満喫していただきました。また、活動時のBGMや体操にも活用して居心地のよい場の提供をしました。
- ・機能訓練は体操や散歩を取り入れて、筋力向上と自立支援につなげました。
- ・脳トレーニングとしてクイズや漢字・計算・パズルなど楽しみながら行っていただきました。
- ・脳の活性化にマージャンをボランティアさんの協力を得て行いました。
- ・歌声喫茶をボランティアさんの協力で行い、人気のある活動として継続しています。
- ・ちぎり絵や書道の趣味活動も楽しんでいただきました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
432	479	455	467	451	427
10月	11月	12月	1月	2月	3月
438	478	444	388	400	441

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 横浜市の総合事業に移行した方の通所介護相当サービスです。同一事業所において、要介護者と一体的にサービスを提供しました。
- ・ 送迎、健康チェック、入浴、口腔体操、食事、散歩、体操、レクリエーション活動（外出含む）、談話、カルチャー活動（習字・カラオケ・囲碁・マージャンなど）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 1862円

（要支援2） 1819円（週2回） 1862円（週1回）

● 食費負担 750円

● オムツ代 50～200円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週6日（月～土曜日・祝日実施・12/28～1/3年末年始休み）

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

管理者：常勤兼務1名 生活相談員：常勤兼務2名・非常勤兼務1名

介護職：非常勤兼務11名 看護師：非常勤兼務4名

《目標に対する成果等》

自宅での生活が可能な限り自力で営めるよう支援する。利用者が心置きなく、寛ぐことができ、「来てよかった。また、来たい。」と心から思えるサービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ アットホームな心のケアを大切にしたいデイサービスです。
- ・ お風呂は季節に応じた入浴剤の使用、中間リフト浴の提供をしました。
- ・ 四季の行事食はお花見弁当・七夕・夏祭り・敬老会・お寿司・クリスマス会・お正月の松花堂弁当などで楽しむことができるように努めました。
- ・ カラオケは新曲も楽しめる機器の導入により活動時のBGMや体操にも活用して居心地のよい場の提供をしました。
- ・ 機能訓練は体操や散歩を取り入れて、筋力向上と自立支援につなげました。
- ・ 脳トレーニングとしてクイズや漢字・計算・パズルなど楽しみながら行いました。
- ・ 脳の活性化のためにマージャンをボランティアさんの協力を得て行いました。
- ・ 歌声喫茶をボランティアさんの協力で行い、人気のある活動となっています。
- ・ ちぎり絵や書道の趣味活動も楽しまれていました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
70	74	80	86	107	102
10月	11月	12月	1月	2月	3月
104	100	108	100	93	82

平成29年度「上矢部地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,088,358	291,493	16,796,865	16,796,865	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	118,050	118,050	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	6,615	6,615	
印刷代	0		0	6,549	6,549	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	66	66	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	19,065,858	291,493	18,774,365	18,899,030	124,665	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	11,012,305	323,305	
本俸	9,000,000		9,000,000	8,638,882	361,118	
社会保険料	900,000		900,000	735,704	164,296	
手当計	510,000		510,000	1,515,538	1,005,538	
健康診断費	30,000		30,000	25,599	4,401	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	249,000		249,000	96,582	152,418	
事務費	1,391,738	0	1,391,738	1,776,160	384,422	
旅費	18,664		18,664	18,664	0	
消耗品費	361,808		361,808	361,808	0	
会議購い費	0		0	0	0	
印刷製本費	37,085		37,085	37,085	0	
通信費	407,941		407,941	407,941	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	126,934	126,934	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	54,476		54,476	54,476	0	
職員等研修費	12,000		12,000	12,000	0	
振込手数料	101,345		101,345	101,345	0	
リース料	396,293		396,293	396,293	0	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	2,126		2,126	259,614	257,488	
事業費	1,156,000	0	1,156,000	760,806	395,194	
運営協議会経費	42,000		42,000	35,552	6,448	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,114,000		1,114,000	725,254	388,746	
管理費	4,974,000	120,000	5,094,000	3,047,085	3,106,275	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,000,000	0	2,000,000	1,059,360	2,000,000	
電気料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
ガス料金	500,000		500,000		500,000	
水道料金	500,000		500,000		500,000	
清掃費	800,000		800,000	443,666	356,334	
修繕費	474,000	120,000	594,000	245,644	348,356	予算・指定額
機械整備費	0		0	254,004	254,004	
設備保全費	1,480,000	0	1,480,000	895,926	584,074	
空調衛生設備保守	450,000		450,000	357,237	92,763	
消防設備保守	200,000		200,000	104,559	95,441	
電気設備保守	320,000		320,000	131,136	188,864	
害虫駆除清掃保守	160,000		160,000	61,414	98,586	
駐車場設備保全費	0		0	241,580	241,580	
その他保全費	350,000		350,000	0	350,000	
共益費	0		0	103,098	103,098	
その他	220,000		220,000	45,387	174,613	
公租公課	855,120	0	855,120	880,984	25,864	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	855,120		855,120	880,984	25,864	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	19,065,858	120,000	19,185,858	17,477,340	2,767,878	
差引	0	411,493	411,493	1,421,690	2,892,543	

自主事業費収入	1,114,000		1,114,000	0	1,114,000	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	1,114,000		1,114,000	725,254	388,746	
自主事業収支	0	0	0	725,254	725,254	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	241,580	241,580	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	241,580	241,580	

**平成29年度「横浜市上矢部地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,987,886	235,386	28,752,500	28,752,500	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,368,550	4,420,450	4,420,450	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	0	0	0	9,104	9,104	
印刷代	0		0	9,068	9,068	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	36	36	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,927,886	1,603,936	33,323,950	33,333,054	9,104	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,999,000	0	30,999,000	27,958,734	3,040,266	
本俸	18,000,000		18,000,000	17,300,584	699,416	
社会保険料	4,000,000		4,000,000	3,677,130	322,870	
手当計	8,399,000		8,399,000	6,468,146	1,930,854	
健康診断費	100,000		100,000	39,936	60,064	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	500,000		500,000	472,938	27,062	
事務費	753,886	0	753,886	1,242,865	488,979	
旅費	50,000		50,000	18,640	31,360	
消耗品費	100,000		100,000	93,916	6,084	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	16,006	33,994	
通信費	100,000		100,000	225,661	125,661	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	32,215	32,215	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	4,414	5,586	
職員等研修費	10,000		10,000	48,000	38,000	
振込手数料	10,000		10,000	45,803	35,803	
リース料	10,000		10,000	113,037	103,037	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	413,886		413,886	645,173	231,287	
事業費	2,029,000	0	2,029,000	1,169,514	859,486	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	939,000		939,000	336,457	602,543	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	178,057	130,943	予算:指定額
管理費	1,146,000	0	1,146,000	761,290	666,312	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	330,000	0	330,000	281,602	330,000	
電気料金	150,000		150,000		150,000	
ガス料金	100,000		100,000		100,000	
水道料金	80,000		80,000		80,000	
清掃費	120,000		120,000	117,934	2,066	
修繕費	126,000		126,000	16,614	109,386	予算:指定額
機械警備費	70,000		70,000	67,520	2,480	
設備保全費	265,000	0	265,000	238,151	26,849	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	94,960	5,040	
消防設備保守	30,000		30,000	27,794	2,206	
電気設備保守	35,000		35,000	34,858	142	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	16,325	3,675	
駐車場設備保全費	0		0	64,214	64,214	
その他保全費	80,000		80,000	0	80,000	
共益費	0		0	27,404	27,404	
その他	235,000		235,000	12,065	222,935	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	34,927,886	0	34,927,886	31,132,403	4,077,085	
差引	0	1,603,936	1,603,936	2,200,651	4,086,189	

自主事業費収入	1,399,000			0		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,399,000			665,514		
自主事業収支	0			665,514		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			64,214		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			64,214		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 上矢部地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	3832	10931	58827	0
	その他	5762	214	690	0
	介護予防ケアマネジメント 費	5762	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	214	690	0
収入合計(A)		9594	11145	59517	0
支出	人件費	2596	11651	39752	0
	事務費	253	1140	7941	0
	事業費	0	173	9776	0
	管理費	0	0	0	0
	その他	6255	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	6255	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
支出合計(B)		9104	12964	57469	0
収支 (A) - (B)		490	-1819	2048	0

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

上矢部地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
上矢部家族の会	①介護者	19,108	地活	19,108			0	0	19,108
	②1回あたり15名程度		包括						
	③0		生活						
権利擁護普及啓発活動	①地域住民	29,588	地活	29,588			20,000	0	9,588
	②約30名程度		包括						
	③0		生活						
社会福祉士 現場実習生受け入れ	①実習生	0	地活				0	0	0
	②数名		包括						
	③0		生活						
ノルディックウォーキング	①地域住民	42,240	地活	42,240			40,000		2,240
	②1回あたり20人		包括						
	③0		生活						
はつらつ健康体操	①地域住民	50,000	地活	50,000			50,000		0
	②1回あたり25人		包括						
	③0		生活						
ときめき健康体操	①地域住民	60,000	地活	60,000			60,000		0
	②1回あたり25人		包括						
	③0		生活						
民生委員ケアマネ ジャー情報交換会	①ケアマネ・民生委員	0	地活				0		0
	②40名程度		包括						
	③0		生活						
ケアマネサロン	①ケアマネジャー	16,304	地活	16,304			0		16,304
	②20名程度		包括						
	③0		生活						
就任・就労予定 ケアマネジャー研修	①地域住民	0	地活						0
	②20		包括						
	③0		生活						
シネマ喫茶	①地域住民	63,235	地活	63,235					63,235
	②80名		包括						
	③0		生活						
出前講座	①地域住民	0	地活				0		0
	②1講座20人		包括						
	③0		生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

上矢部地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
「広報かみやべ」発行	①地域住民	23,334	地活					
	②30,000部		包括	23,334				23,334
	③0		生活					
歌声喫茶	①地域住民	26,912	地活					
	②1回90名		包括	26,912		26,912		0
	③0		生活					
地域包括支援センターのPR	①地域住民	1,836	地活					
	②—		包括	1,836				1,836
	③0		生活					
医療連携研修	①ケアマネジャー	0	地活					
	②100		包括			0		0
	③0		生活					
認知症サポーター養成講座	①地域住民	0	地活					
	②50名		包括					0
	③0		生活					
ケアプラカード	①講座参加者	23,900	地活					
	②300		包括	23,900				23,900
	③0		生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

上矢部地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	総経費	自主事業決算額						
			収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
講座参加者へのポイントカード	①地域住民	11846	地活	11846	0	0	0	0	11846
	②300枚		包括						
	③なし		生活						
ミニデイサービス	①概ね65歳以上	80918	地活	80918	0	0	57188	5632	18098
	②263名		包括						
	③なし		生活						
おしゃべりスポーツ喫茶	①概ね65歳以上	27229	地活	27229	0	0	0	5000	22229
	②227名		包括						
	③なし		生活						
子連れdeヨガサロン	①9か月～の親子	100516	地活	100516	0	0	61248	0	39268
	②198名		包括						
	③なし		生活						
囲碁将棋コーナー	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②299名		包括						
	③なし		生活						
はなうた	①知的障がい的小・中学生	54075	地活	31075	23000	0	16000	23143	14932
	②46名程度		包括						
	③500		生活						
戸塚区精神障害者活動支援事業 あったまり場	①知的障がいのある方を ②地域に住むこころの病を抱えた方	79944	地活	79944	0	0	0	0	79944
	②41名		包括						
	③なし		生活						
ボランティア感謝会	①ケアプラザに関わってもらっているボランティア	17010	地活	17010	0	0	0	0	17010
	②43名		包括						
	③なし		生活						
いいじいカフェ	①地域住民	141755	地活	55005	54900	31850	0	135595	6160
	②549名		包括						
	③100円		生活						
救命救急講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②11名		包括						
	③なし		生活						
かみやベスクール	①学生	21637	地活	21637	0	0	10500	11137	0
	②41		包括						
	③なし		生活						
あんしん子育て教室	①地域の乳幼児の親	10000	地活	10000	0	0	0	10000	0
	②21名		包括						
	③なし		生活						
		544930		435180	77900	31850	144936	190507	209487

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

上矢部地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふれあいフェスティバル	①地域住民	144787	地活	144787	0	0	0	0	144787
	②553名		包括						
	③なし		生活						
歌声喫茶	①地域住民	26622	地活	26622	0	0	26622	0	0
	②1163名		包括						
	③なし		生活						
ふれあい広場	①地域住民	3000	地活	3000	0	0	0	0	3000
	②417名		包括						
	③なし		生活						
子育て支援	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②0名		包括						
	③なし		生活						
上矢部まちづくりの会協	①地域住民	5000	地活	5000	0	0	0	0	5000
	②500		包括						
	③なし		生活						
健康づくり講座 (保健活動推進員協力)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②11		包括						
	③なし		生活						
貸館利用団体の連絡会	①貸館を利用している団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②18名		包括						
	③なし		生活						
子育て連絡会	①上矢部CPエリアの子育て支援者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②38名		包括						
	③なし		生活						
広報誌 「広報かみやべ」発行	①地域住民	23334	地活	23334	0	0	0	0	23334
	②なし		包括						
	③なし		生活						
域食事会・行事への参加	①地域住民	5400	地活	5400	0	0	0	0	5400
	②未定		包括						
	③なし		生活						
ケアプラザの情報発信	①地域住民	31516	地活	31516	0	0	0	0	31516
	②なし		包括						
	③なし		生活						
		784589		674839	77900	31850	171558	190507	422524

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

上矢部地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	総経費	自主事業決算額						
			収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
学校の福祉教育	①近隣の学校	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②100名程度		包括						
	③なし		生活						
ボランティア養成講座	①65歳以上の横浜市民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②15名		包括						
	③なし		生活						
食生活改善講座	①地域住民	5000	地活	5000	0	0	0	5000	0
	②22名		包括						
	③なし		生活						
矢部福祉まつり	①地域住民	9150	地活	9150	0	0	0	0	9150
	②100名程度		包括						
	③なし		生活						
落語・絵本読み合わせ	①地域住民	14659	地活	14659	0	0	5568	7091	2000
	②28人		包括						
	③なし		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		813398		703648	77900	31850	177126	202598	433674

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市上矢部地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上矢部家族の会	<p>【目的】 介護をしている方同士の交流が持てる場や、気分転換が図れる場として開催しました。</p> <p>【内容】 茶話会。日頃の介護で悩んでいることなど卒直な意見交換をし、ピアサポート的な場を提供した。</p> <p>【対象者】 上矢部家族の会会員、会員より紹介があった方、地域広報誌で参加希望があった方</p>	<p>【実施時期】 6月 9月 12月 3月 13:30～15:00</p> <p>【実施回数】 4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護普及啓発活動	<p>【目的】 地域の地域住民・民生委員・ケアマネジャー等の権利擁護意識向上に資することを目的とし、地域の食事会・体操教室・CMサロン・講演会開催時等に啓発した。</p> <p>【内容】 遺言・相続・成年後見制度（任意後見含む）・悪徳商法・認知症等に関する「情報提供」と「講話・講演会」</p> <p>【対象者】 地域住民、民生委員、ケアマネジャー</p>	<p>【実施時期】 4月～3月</p> <p>【実施回数】 講座→数回 その他→10回程度</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社会福祉士現場実習生受け入れ	<p>【目的】 次を担う福祉の人材育成に寄与することを目的に、大学の実習生の受け入れを行う。予定であったが、今年度は要望がなくおこないませんでした。</p> <p>【内容】 実習指導（福祉現場への理解、面接技法、訪問同行、等）</p> <p>【対象者】 社会福祉士養成課程における実習生</p>	<p>【実施時期】 4月～3月 ※大学側の要望に応じて</p> <p>【実施回数】 ※大学側の要望に応じて (※今年度は要望なし)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操	<p>【目的】 はまちゃん体操の普及・啓発を目的に、ケアプラザ、町内会館、マンションなどにおいて体操を行う。また老人会、食事会、介護者の集いなどでも実施しました。</p> <p>【内容】 介護予防ミニ講座、ハマトレ、はまちゃん体操、歌って回想健康法</p> <p>【対象者】 地域住民</p>	<p>【実施時期】 4月～3月</p> <p>【実施回数】 月1回程度</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ健康体操	<p>【目的】 一般高齢者に対して転倒、骨折予防のための体操の普及、啓発を目的に体操を行いました。</p> <p>【内容】 介護予防ミニ講座、ストレッチ、体操などを行いました。</p> <p>【対象者】 おおむね65歳以上の一般高齢者</p>	<p>【実施時期】 10・11月</p> <p>【実施回数】 6回 (9/1.9/11 9/25.10/6.10/20)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときめき健康体操	<p>【目的】 一般高齢者に対して転倒、骨折予防のための体操の普及、啓発を目的に体操を行いました。</p> <p>【内容】 介護予防ミニ講座、ストレッチ、体操などを行いました。</p> <p>【対象者】 おおむね65歳以上の一般高齢者</p>	<p>【実施時期】 4～6月 1～3月</p> <p>【実施回数】 6回 (4/19.5/17. 6/21.1/17.2/21.3/ 21)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員・ケアマネジャー情報交換会	<p>【目的】 地域のケアマネジャーと民生委員、関連機関のあいだで顔の見える関係をつくる。今年度は個別レベルの地域ケア会議として地域課題の抽出と地域づくりを目指していく。</p> <p>【内容】 連絡会の開催と研修</p> <p>【対象者】 地域のケアマネジャー、民生委員、サービス事業者・ボランティア団体</p>	<p>【実施時期】 9月</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	<p>【目的】 エリアのケアマネジャーを対象に勉強会を開催する</p> <p>【内容】 講師を招いての講座、ケアマネジャー同士で悩みを相談し合える場として開催する。 6月「サービス付高齢者住宅について～よい施設の見分け方～」、7月「認知症の”人の気持ち” 思いを理解してかわる」10月「法テラスの利用について～法テラスの概要とケアマネジャーにとっての身近な法律問題」、3月「薬剤師による居宅療養管理指導のポイント」を実施した。事前アンケートなどを活用し、講師とケアマネジャーとの対話を通じて相互理解が深まるようにした。</p> <p>【対象者】 地域のケアマネジャー</p>	<p>【実施時期】 6月, 7月, 10月, 3月 に実施</p> <p>【実施回数】 4回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラカード	<p>【目的】 講座への参加意欲を高め閉じこもり予防を図るとともに、包括支援センターの周知や介護予防につなげる。</p> <p>【内容】 ポイントカードを作成し、ケアプラザの自主事業に参加した際に、オリジナルのスタンプを押した。8ポイントで「であい」のパンやペットボトル飲料、いいじいカフェのコーヒーと交換し地域の方の参加意欲を高めた。</p> <p>【対象者】ケアプラザの講座や教室の参加者</p>	<p>【実施時期】 年間</p> <p>【実施回数】 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新人・ 就労予定ケアマネジャー研修	<p>【目的】 戸塚区内で就労予定の新任ケアマネジャーを対象とした研修を、区内の居宅主任ケアマネジャーとともに企画し、相談ができる縦・横のつながりを作る。</p> <p>【内容】 全体研修とケアマネジャーのニーズに合わせ、今年は「初回訪問」をテーマとして6つの小グループに分けてそれぞれ特色のある研修を行い、好評であった。</p> <p>【対象者】 区内の新人・就労予定ケアマネジャー</p>	<p>【実施時期】 全体研修7月27日 個別研修は随時</p> <p>【実施回数】 1回 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「広報かみやべ」 発行	<p>【目的】 地域住民への情報発信、包括事業の周知</p> <p>【内容】 ・地域ケアプラザ、包括支援センターの事業広報 ・カラー印刷し、地域の回覧でも読みやすいよう配慮した ・ホームページにもUPし、情報や活動を広く周知した</p> <p>【対象者】 地域住民</p>	<p>【実施時期】 毎月</p> <p>【実施回数】 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	<p>皆で集い唄い、介護予防に役立つ情報提供も行う。</p> <p>【内容】 ・ピアノの伴奏と歌声リーダーに合わせ、歌を唄う ・介護予防ミニ講座 ・ケアプラザの事業の周知 ・12月には地区センター体育館にて一部二部合同歌声喫茶の開催し、多くの方に来場していただいた。</p> <p>【対象者】一般高齢者、地域住民</p>	<p>【実施時期】 毎月第2水曜日</p> <p>【実施回数】 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域包括支援 センターPR	<p>【目的】 「ふれあいフェスティバル」「アクアフェスタ」「矢部福祉まつり」等の企画運営に参加し、地域住民や施設の連携を深めます。</p> <p>【内容】 イベントへ企画・参加、啓発物品の作成、印刷を実施した。</p> <p>【対象者】 地域住民</p>	<p>【実施時期】 アクアフェスタ 9/24 ふれあいフェスティバル 10/22 矢部福祉まつり 10/7</p> <p>【実施回数】 3回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療連携研修	<p>【目的】 11包括合同で医療連携に関する研修を企画する。</p> <p>【内容】 他職種を理解しよりよい関係を築くための研修開催を目的とし、今年度は横浜市総合リハビリテーションセンター職員を講師として「ケアマネジメント向上のための在宅リハビリテーションの活用について」のテーマで研修実施した。</p> <p>【対象者】 ケアマネジャー・医療関係者</p>	<p>【実施時期】 11/27</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマ喫茶	<p>【目的】 映画鑑賞を通じて、地域住民が集える場を作る。健康や介護予防に関する情報提供を行い多世代交流の場として地域の連携につなげる。</p> <p>【内容】 多世代で楽しめる映画を上映し(8月「リトルプリンス」12月「参勤交代!リターンズ」)、併せてケアプラザからの情報を発信する場とすることができた。</p> <p>【対象者】 地域住民</p>	<p>【実施時期】 8/17、12/15</p> <p>【実施回数】 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	<p>【目的】 介護保険や認知症に関する講座を、地域に出向いて行いました。</p> <p>【内容】 地域の要望に応じて講座の内容を行いました。包括の周知も行いました。</p> <p>【対象者】 地域住民、地域の高齢者団体</p>	<p>【実施時期】 年間</p> <p>【実施回数】 5/12. 7/18. 8/25. 11/15. 12/4. 3/15. 3/20</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング	<p>【目的】 一般高齢者に対して転倒、骨折予防のための普及、啓発を目的にノルディックウォーキングを行いました。</p> <p>【内容】 介護予防ミニ講座・YOKOHAMAノルディックウォーキングクラブの指導者による講座を行いました。雨の日は室内で歩き方・姿勢などについて講義を受けました。</p> <p>【対象者】 おおむね65歳以上の一般高齢者</p>	<p>【実施時期】 2～3月</p> <p>【実施回数】 4回) (2/23. 3/2. 3/9. 3/16)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 認知症について正しい知識を身につけ、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（サポーター）を養成する。</p> <p>【内容】 認知症サポーターによる講座は行いませんでしたが老人会やサロンでの認知症・認知症に対する対応などの講座を行いました。</p>	<p>【実施時期】 年間</p> <p>【実施回数】 8/11. 9/15. 3/19</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市上矢部地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
講座参加者へのポイントカード	<p>【目的】 講座への参加意欲を高め、閉じこもり予防を図る。 講座参加率が高くなり、包括の周知もできる。</p> <p>【内容】 ポイントカードを作成し、ケアプラザの自主事業に参加した際に、オリジナルのスタンプを押す。一定のポイント達成時にはオリジナルグッズと交換しました</p> <p>【対象者】 ケアプラザの講座や教室の参加者</p>	<p>【実施時期】 年間</p> <p>【実施回数】 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス	<p>【対象者】 地域住民の方を中心に、他者とのコミュニケーションを必要とする方や一人暮らしの方など概ね65歳以上。</p> <p>【目的】 友達、顔見知り作りと情報交換、閉じこもり予防として、交流の場。また、サークル活動団体の発表の場として提供する。</p> <p>【内容】 コーラスやウクレレなどの団体による催しものの観覧とお茶とお菓子を食べながら参加者・ボランティア同士の交流を図りました。</p>	<p>【実施時期】 毎月1回 (第2土曜日) *8月を除く 10:00~12:00</p> <p>【実施回数】 計11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おしゃべりスポーツ喫茶	<p>【対象者】 地域住民の方を中心に、他者とのコミュニケーションを必要とする方や一人暮らしの方など概ね65歳以上。</p> <p>【目的】 友達、顔見知り作りと情報交換、閉じこもり予防として、交流の場。スポーツで健康維持を目指す。</p> <p>【内容】 高齢者でも簡単に参加できるボッチャを行い、交流を深めました。</p>	<p>【実施時期】 毎月1回 (第3木曜日) *8月を除く 13:30~15:15</p> <p>【実施回数】 計11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子連れdeヨガサロン	<p>【対象者】 9か月～未就園児とその親</p> <p>【目的】 未就園児とその親を対象</p> <p>【内容】 講師に依頼をし、ヨガを行いました。子供とともに参加できるように、おもちゃなどを用意をしました。</p>	<p>【実施時期】 毎月1回 (第3木曜日) *8月を除く 10:00~11:00</p> <p>【実施回数】 計11回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児スマイル事業 「はなうた」 自主事業支援	【対象者】知的障がい小・中・高生対象。 【目的】知的障がい児の居場所の提供・余暇時間の支援。 【内容】音楽療法や体操、カレー作りなどのレクリエーションを行いました。	【実施時期】 奇数月1回 (第1日曜日) *1・5月を除く 9:30~12:00 【実施回数】 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
戸塚区精神障害者活動支援事業 「あったまり場」	【対象者】主に上矢部CPエリアのこころの病をかかえる方 【目的】こころの病を抱えた方の居場所作り、外出の機会、活動の場の提供。ボランティアとの交流の場。 【内容】自由に入出りできるフリースペース。また、当事者、ボランティアとのニーズを反映させながら、散歩やゲームなどを行いました。	【実施時期】 毎月1回 (第2木曜日) *8月は休み 14:00~16:00 【実施回数】 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	【対象者】ケアプラザに関わっているボランティア 【目的】ケアプラザで行う事業に関わって頂く、ボランティア活動団体や個人ボランティアと職員の情報交換や交流の場。また、ボランティア同士の交流。 【内容】ボランティアによる出し物などの催し物を行い、感謝の気持ちを伝える交流会をしました。	【開催時期】 2月24日(土) 10:30~12:30 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いいじいカフェ	【対象者】地域住民 【目的】「おじさま力アップ講座」の卒業生の活動の場。多世代交流の場。 【内容】いいじいによるコーヒーの淹れたて提供や、昔遊びコーナー、講座等を行いました。	【実施時期】 毎月第1月曜日 【実施回数】 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救命救急講座	【対象者】地域住民 【目的】乳幼児期に起こりやすい応急救護を学ぶ。 【内容】日本赤十字社神奈川県支部職員による応急救護の指導を受けました。	【実施時期】 6月23日(金) 10:30~12:00 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみやベスクール	【対象者】地域に住む学生 【目的】ケアプラザの周知小学生の興味がある内容を企画し、ケアプラザに来てもらう。 【内容】おもしろたんけん工房の方に来てもらい「こてき隊」を作成しました	【実施時期】 8月4日 【実施回数】 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あんしん子育て教室	<p>【対象者】 地域に住む乳幼児の親</p> <p>【目的】 乳幼児をもつ親に食に対する正しい知識を学び、食育の大切さを知って頂く。</p> <p>【内容】 戸塚区戸塚第三・上矢部地区食生活等改善推進員会（ヘルスメイト）を講師として、講座を行いました。</p>	<p>【実施時期】 11月4日（土） 10:00～12:00</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいフェスティバル	<p>【対象者】 地域住民の方</p> <p>【目的】 地域の方々との親睦と交流を図る。また、ケアプラザ周知活動。</p> <p>【内容】 ケアプラザの紹介やサークル活動の紹介及び作品展・販売を行う。又、地域の披露団体の場を提供しました。</p>	<p>【開催時期】 10月22日（日）</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	<p>【対象者】 一般高齢者、地域住民</p> <p>【目的】 皆で集い唄うことで、気分爽快になり介護予防や外出支援につなげる。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの伴奏と歌声リーダーに合わせ、歌を唄いました ・介護予防ミニ講座 ・ケアプラザの事業の周知 ・複数ケアプラザ合同歌声喫茶の開催なども行いました。 	<p>【実施時期】 毎月第2水曜日 * 8月は第1週目 13:00～14:30</p> <p>【実施回数】 計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい広場	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 友達、顔見知り作りと情報交換、閉じこもり予防、世代間交流、障がい者の交流の場を提供する。</p> <p>【内容】 ボランティア団体（ふれあいグループ）協力により、毎月異なった手芸作品を作りました。</p>	<p>【実施時期】 毎月原則2回 （第1・3土曜日）</p> <p>* 1・8月、祝日を除く 10:00～14:00</p> <p>【実施回数】 計18回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援	<p>【対象者】 地域の子育て中の未就園児とその親</p> <p>【目的】 親同士の交流、情報交換の場の提供。親子と地域の協力員等（民生委員児童委員や主任児童委員）との支えあい関係作り。</p> <p>【内容】 かみやべGO、ラムママおしゃべりルーム、赤ちゃん教室、親子サークルなどに協力しました。</p>	<p>【実施時期】 かみやべGO毎月第1水曜日、ラムママ毎月第4水曜日、赤ちゃん教室毎月第2水曜日、親子サークル不定期</p> <p>【実施回数】 計50回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上矢部まちづくりの会協力	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域住民の交流の場。CPの周知活動。</p> <p>【内容】 上矢部まちづくりの会の主催の阿久和川清掃や9月のAQUAフェスタに健康相談ブースの出店などで参加し、地域住民との交流を図っていきました。</p>	<p>【実施時期】 毎月第4日曜日 ※AQUAフェスタ9月24日(日)</p> <p>【実施回数】 11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり講座 (保健活動推進員協力)	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 体操を通して、健康の大切さや健康維持に努める機会とする。</p> <p>【内容】 講師を招き、健康に対する講座を行いました。(上矢部地区保健活動推進員との共催)</p>	<p>【実施時期】 4月～2月頃</p> <p>【実施回数】 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体の連絡会	<p>【対象者】 貸し館利用団体</p> <p>【目的】 利用団体の交流の機会を作る。また、貸館利用に関するルールを再認識してもらう。</p> <p>【内容】 茶話会形で開催し、各団体同士の情報提供や交流の場の提供を行いました。</p>	<p>【実施時期】 3月12日(月) 13:30～14:30</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て連絡会	<p>【対象者】 上矢部CPエリアにおける子育て支援者、主任児童委員、保育園、ファミリーホーム、区役所、区社協等の方</p> <p>【目的】 地域で子育てをする方の見守りやネットワークを作る。子育てしやすい環境作りを考える。</p> <p>【内容】 第1回は各施設やCP、区役所の年間の予定(外遊びについての話し合い含む)についての話し合い、第2回、第3回目は「外遊び」の経過など踏まえて内容を決める予定。また、上矢部CPエリアの子育て情報の集約した子育てカレンダーを作成しました。</p>	<p>【実施時期】 4月26日(水) 9月27日(水) 1月23日(火)</p> <p>【実施回数】 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いいじい	<p>【対象者】 おじさま力アップ講座の卒業生</p> <p>【目的】 「おじさま力アップ講座」の卒業生の参加者を地域におけるボランティアや地域の担い手につなげるため、今後の活動に関する話し合いの場の提供。</p> <p>【内容】 参加者の意向を聞きながら、活動内容を考え、矢部福祉まつりへの出張やふれあいフェスティバルの出店などをしました。</p>	<p>【実施時期】 5月10日 7月7日 9月25日 10月22日</p> <p>【実施回数】 4回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報誌 「広報かみやべ」発行	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域住民への情報発信、CPの周知活動</p> <p>【内容】 ・地域ケアプラザの事業広報 ・カラー印刷し地域の回覧でも読みやすく配慮する ・ホームページにもUPし、広く周知しました。</p>	<p>【実施時期】 毎月</p> <p>【実施回数】 年12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域食事会、 行事への参加	<p>【対象者】 地域食事会、行事の参加者</p> <p>【目的】 アウトリサーチ、ニーズの把握</p> <p>【内容】 地域で行われている食事会、行事に参加しました。</p>	<p>【実施時期】 随時</p> <p>【実施回数】 30回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザの 情報発信	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域の方が必要とする情報が提供を随時提供する。</p> <p>【内容】 地域の情報を集約した地域資源シートの作成や、子育て関係の情報のまとめたものを提供する。また、月1回のHPの更新、ツイッターやフェイスブックでのイベント、講座や災害情報などの情報発信を行う。食事会にも参加し、情報提供を行いました。</p>	<p>【実施時期】 4月～3月</p> <p>【実施回数】 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学校の福祉教育 (小学校・中学校、 高校の生徒の受入)	<p>【対象者】 近隣の小学校、中学校、高校</p> <p>【目的】 地域の福祉保健活動の活性化として、ボランティア体験を受け入れる。また、福祉教育の推進。</p> <p>【内容】 デイサービスのボランティア体験や車椅子体験、認知症サポーター養成講座の開催しました。</p>	<p>【実施時期】 年間</p> <p>【実施回数】 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地区別計画推進 (ハートプランの 周知活動)	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 認知症ハートプラン地区別計画の推進</p> <p>【内容】 地区別計画に伴う事務局の打合せと推進委員会の開催。上矢部CPエリアの目標達成のための事業実施。また、周知活動とし、「すいとんDEかみやべ」の開催や「矢部福祉まつり」にハートプラン周知活動のため、出店をしました。</p>	<p>【実施時期】 年間</p> <p>【実施回数】 随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア養成講座	<p>【対象者】 65歳以上の横浜市民</p> <p>【目的】 ボランティア活動されている方の意欲向上、新たなボランティアの発掘と育成</p> <p>【内容】 ボランティア養成講座を開催しました。</p>	<p>【実施時期】 6月29日(木)</p> <p>【実施回数】 1回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食生活改善講座	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 食を通じて、健康の大切さや健康維持に努める機会とする。食についての知識を高めてもらう。</p> <p>【内容】 講師を招き、食事に対しての講座を行いました。(戸塚区食生活推進員との共催)</p>	<p>【実施時期】 10月3日(火)</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
矢部福祉まつりの協力	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 矢部福祉タウン4施設(もえぎケアセンター、GHやまぶき、GHみなと・みさき、戸塚区生活支援センター)の周知と地域住民との交流。</p> <p>【内容】 矢部配郷公園と施設駐車場を使い、出し物や自社製品の販売、新鮮野菜の販売を行いました。</p>	<p>【実施時期】 10月7日(土)</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
落語・絵本読み合わせ	<p>【対象者】 子育て世代～高齢者</p> <p>【目的】 子育てサークル様と連携することによって多世代交流や高齢者の外出の機会を増やす。</p> <p>【内容】 独演会を行い、お食事の後落語を行いました。</p>	<p>【実施時期】 8月3日(木)</p> <p>【実施回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁将棋コーナー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 友達、顔見知り作りと情報交換、閉じこもり予防として、交流の場を提供しました。</p> <p>【内容】 囲碁コーナーとして場所を提供する。時間内であれば、出入り自由のスペース。</p>	<p>【実施時期】 毎週金曜日 9:30～12:00</p> <p>【実施回数】 計48回</p>